



富永神楽による「大蛇退治」

安岐町

第5回仏の里東国東神楽大会

11月3日(土)安岐コミュニティ広場で、第5回仏の里東国東神楽大会が開催されました。市内の武多都神楽(国見町)、国東神楽(国東町)、手野神楽(武蔵町)、富永神楽、西武蔵子ども神楽(安岐町)が共演し、それぞれの地域に伝わる伝統の神楽を披露しました。

また、杵築市の俣水神楽や、日本文理大学沖縄県人会の皆さんによる「エイサー」も披露され、市内外から訪れた多くの神楽ファンからは、演目が終わるたびに大きな拍手が送られました。



国見町

竹田津小学校で鳥の巣箱作り

10月31日(木)、竹田津小学校(河野久子校長・46名)の児童が、くにさきロータリークラブ(木戸瑩一郎会長)の指導で鳥の巣箱作りに挑戦しました。

この日は、1年から6年までの児童19名が参加。同クラブや「923みんなくらぶ」(丸山順道理事長)の皆さんの指導で、児童たちは、なれない手つきでしたが、東国東郡森林組合から提供された板に、楽しそうに釘を打っていました。完成した巣箱は、さっそく児童たちの手で校庭の木にかけられました。

同クラブでは、情操教育の一環として、今後3年間の予定で市内の全小学校で実施する予定です。



詩吟にあわせて花を活ける「華道吟」で会がスタート!

国東町

第13回こんさいやろう会

「地区の活性化を図るために、老いも若きも一丸となって頑張ろう!」と今在家区(小田高章区長)の文化祭「第13回こんさいやろう会」が、11月25日(日)に今在家公民館で開催されました。

今年も、詩吟や舞踊、カラオケなど多彩なプログラムで、子どもからお年寄りまで多くの皆さんが出演。プログラムが終わるたびに、会場に集まった大勢の区民の皆さんから、拍手が送られました。



国見町

ペトロ岐部殉教祭

江戸時代初期に、日本人として初めてキリスト教の聖地・エルサレムに足を踏み入れたペトロ岐部カスイの遺徳を偲ぶ殉教祭が、10月28日(日)、岐部のペトロ岐部記念公園で行われ、長崎県や山口県をはじめ全国から約500人が参加しました。

イエズス会の川村信三神父が「大分キリシタン史の中の信徒たち」と題し講演。地元コーラスグループによる賛美歌合唱の後、ミサが執り行われました。